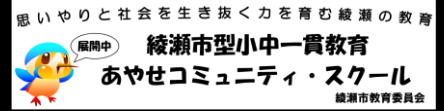


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の 分析について (中学校) 綾瀬市教育委員会



1 調査について

令和5年度全国学力・学習状況調査が、令和5年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象とした悉皆調査として、教科に関する調査（国語及び数学、英語）と質問紙調査を実施したことを受け、この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとし、今後はこの分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

2 教科に関する調査の平均正答率と平均正答数

| 中学校 | | 国語 | 数学 | 英語 |
|------------|-----|----------|---------|---------|
| 綾瀬市 | 正答率 | 66% | 47% | 43% |
| | 正答数 | 9.9/15問 | 7.0/15問 | 7.3/17問 |
| 全国 (公立) | 正答率 | 69.8% | 51.0% | 45.6% |
| | 正答数 | 10.5/15問 | 7.6/15問 | 7.7/17問 |

※英語は「話すこと」の調査結果は含まない

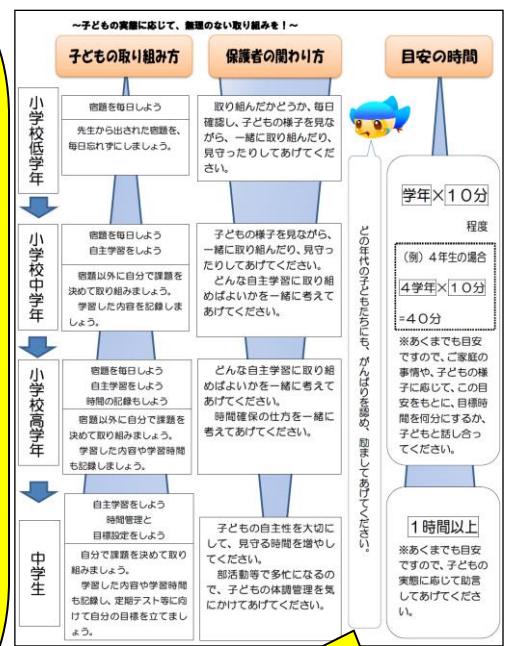
3 確かな学力の向上に向けて

- 綾瀬市型小中一貫教育に取り組み、9年間を見通した系統的な学びを実践しており、確かな学力の向上を図るために、「授業での振り返り」と「家庭学習の習慣化」を推進しています。
- タブレット端末を効果的に活用した授業改善に努めるとともに、「学習支援者」の配置により配慮の必要な生徒への学習支援を行います。
- 少人数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。
- 読書の充実を図るために、1人1冊配本事業や学校司書の配置、学校図書館の充実等の読書環境の整備に努めます。
- 「あやせゼロの日運動」「あやせ学びづくり運動」「あやせ夜間ゼロ運動～ケータイ・スマホ・ゲーム機等の夜間ゼロ運動～」を「あやせコミュニティ・スクール」等を通して推進し、家庭・地域との連携を深めていきます。



○綾瀬市では、小中一貫教育の取組の一つとして、児童・生徒が安心して授業に臨めるように、「授業スタイルの共通化」に取り組んでいます。

○特に、めあて（目標）を明確にすることや、めあてに沿って振り返ることを大切にしています。



○綾瀬市では、「家庭学習の手引き」を作成し、学校と家庭が連携した家庭学習に取り組んでいます。

【国語に関する調査結果の分析】

平均正答率 66%

国語問題



- 全 15 問中、正答率が 80%を上回ったのは 3 問で、50%を下回ったのは 2 問です。
- 全 15 問中、正答率が全国平均を上回ったのは 2 問で、その出題の趣旨は「文脈に即して漢字を正しく書くこと」(3二)と「目的や場面に応じて質問する内容を検討すること」(1一)です。

正答率が最も高かった問題

- 4 3 2 1
が 恥 恐 慌
っ ず れる て
か かし える
り しが る
す

一 線部「落胆する」の意味として最も適切なものを、次の 1 から 4 までのの中から一つ選びなさい。

(正答) 4



国語正答例

問題番号：2一

問題の概要：「落胆する」の意味として適切なものを選択する。

出題の趣旨：事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる。

正答率が最も低かった問題

(ア) ただし、(イ) のように、描かれているもの (イ) と
と意味しているものが異なるため、解説する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる (イ) 言ってみれば、かぞかぞやクイズのようかものかの

(正答) 推

二 線部のひらがなを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

問題番号：3二

問題の概要：漢字を書く(おし量って)

出題の趣旨：文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。

【指導の改善に向けて】

○漢字を正しく用いる態度と習慣を養うために

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるようにします。

○(これも大切)読み手の立場に立ち、叙述の仕方などを確かめて文章を整えるために

書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように、引き続き指導します。

【数学に関する調査結果の分析】

平均正答率 47%



数学問題



数学正答例

- 全 15 問中、正答率が 80%を上回ったのは 2 問で、50%を下回ったのは 10 問です。
- 正答数の中央値が全国と比較して 1.0 問下回っています。
- 全 15 問中、正答率が全国平均を上回ったのは 2 問で、その出題の趣旨は「自然数の意味を理解している」(1)と「数と整式の乗法の計算ができる」(2)です。

正答率が最も低かった問題

問題番号：7(2)

問題の概要：「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。

出題の趣旨：複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうですね。」

啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」

一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

※正答例は二次元（QR）コードからアクセスしてください。

【指導の改善に向けて】

○データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために

データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるように指導します。

○（これも大切）観察や操作、実験などの活動を通して、図形の性質を見いだすことや、統一的・発展的に考察することができるようにするために

図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えとともに、条件を変えるなどして統一的・発展的に考察することができるように指導します。

【英語に関する調査結果の分析】

平均正答率 43%



英語問題



英語正答例

- 全17問中、正答率が80%を上回ったのは0問で、50%を下回ったのは8問です。
- 全17問中、正答率が全国平均を上回ったのは1問で、その出題の趣旨は「日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」(2)です。

正答率が最も低かった問題

問題番号：10

問題の概要：学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。

出題の趣旨：日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

(正答例)

・ Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs.

【指導の改善に向けて】

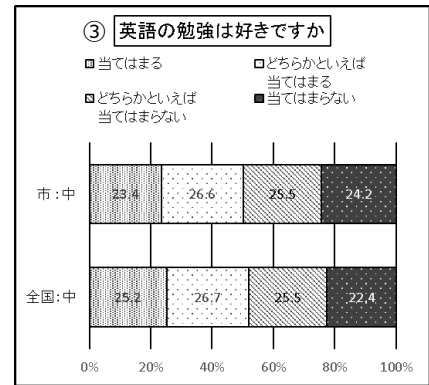
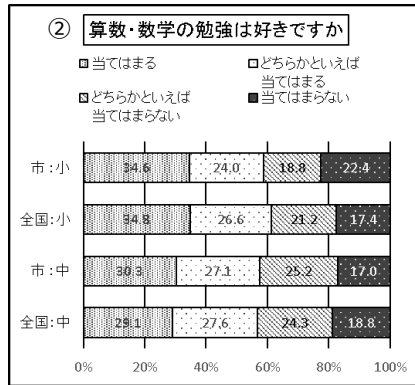
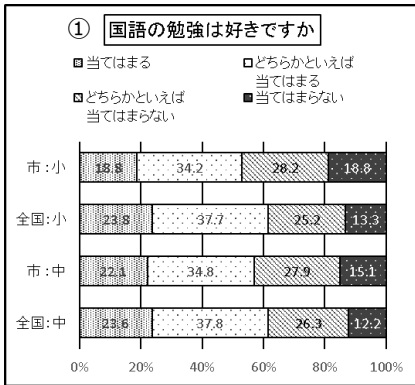
○読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにするために

読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要であるため、次のような言語活動に取り組みます。

・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や、新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動 など

【児童・生徒質問紙調査の結果の分析】

児童・生徒質問紙

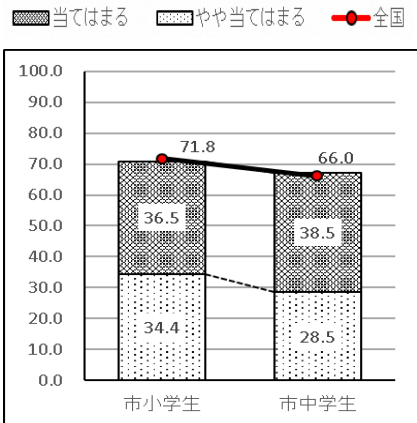
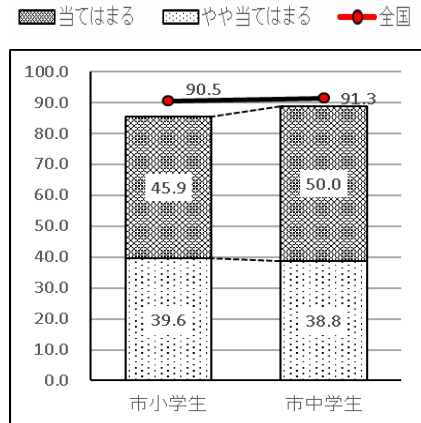
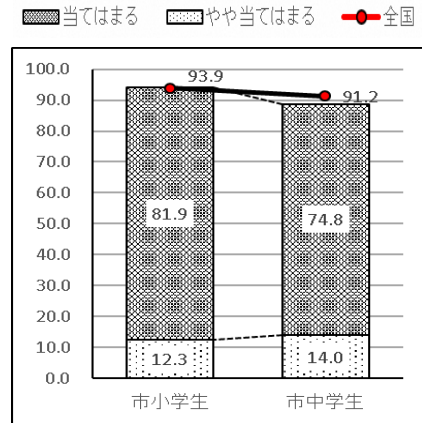


○「国語（小学生・中学生）、算数（小学生）、英語（中学生）の勉強は好きですか」については、全国より下回る傾向にあります。中学生の数学については、全国より上回っています。
○今後も引き続き、児童・生徒が「国語、算数・数学、英語の勉強が好き」と感じるような授業づくりに努めていきます。

④ 朝食は毎日食べていますか

⑤ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

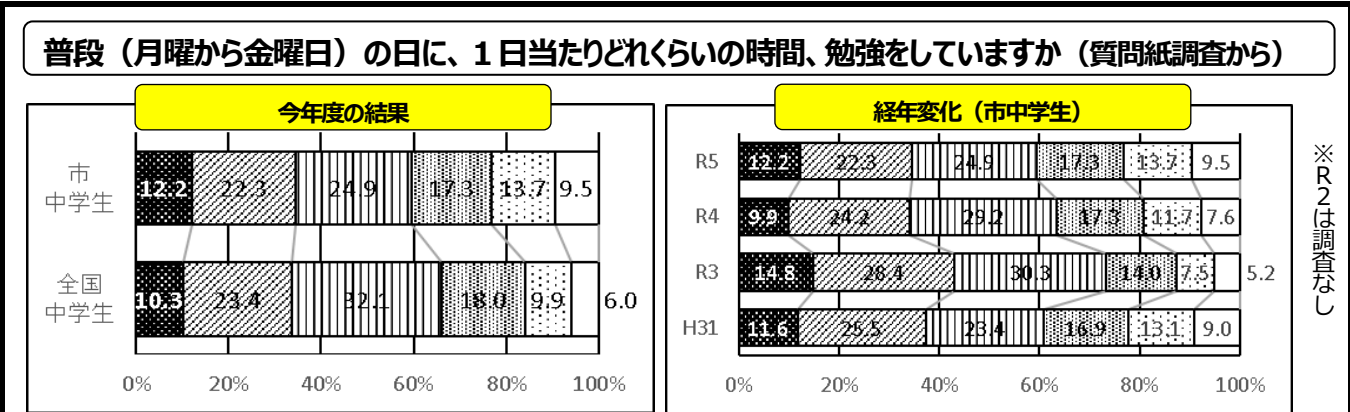
⑥ 読書は好きですか



○「朝食は毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生・中学生ともに90%前後となっており、定着が見られます。
○「読書は好きですか」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生では70%、中学生は65%を超えています。特に中学生は全国よりも上回っており、読書好きの生徒が多いことが分かります。

ご家庭と協力したいこと ～家庭学習の習慣化～

■ 3時間以上 ■ 2~3時間 ■ 1~2時間 ■ 30分~1時間 ■ 30分未満 □ 全くしない



○家庭学習の習慣化を目指していますが、全国平均と比べると、家庭学習の時間が少ないことがうかがえます。帰宅後の家庭での時間の使い方を、改めて見直してみることも大切です。お子さまが自分で学習の計画を立て、自主的に学習に取り組めるよう、学校で取り組んでまいります。ご家庭でも引き続き温かい言葉かけや励ましをお願いします。